

<報道関係者各位>

すみだ北斎美術館 企画展のご案内

開催期間 2020年4月21日(火)～6月14日(日)

北斎と楽しむ四季のイベント 大江戸歳事記

すみだ北斎美術館では、2020年4月21日(火)から6月14日(日)まで、企画展「大江戸歳事記」を開催致します。現代の私たちは、毎年決まった時期に行われる様々なイベントを通して、1年の生活のリズムを感じていますが、北斎が生きた江戸時代の人々も同様に年を重ねていました。本展では、そのような年中行事に焦点を当て、北斎や門人たちが描いた当時の風俗を紹介します。それぞれの行事は、1年の平穏無事や子どもの成長など、種々の祈りを込めて行われました。いろいろな行事に加え、季節ごとに登場する行商などの風俗を描いた作品も展示し、江戸の四季をご紹介します。150年以上前の江戸の1年を身近に感じ、先人の生活に思いをはせていただければ幸いです。どうぞ、江戸の歳事記をお楽しみください。 ※本企画展は3階企画展示室のみとなります。

目次			
■本展の見どころ	P.1	■開催概要	P.4
■関連イベントのお知らせ	P.4	■広報用作品画像請求用紙	P.5
■今後の企画展のお知らせ	P.6	■内覧会のご案内	P.7

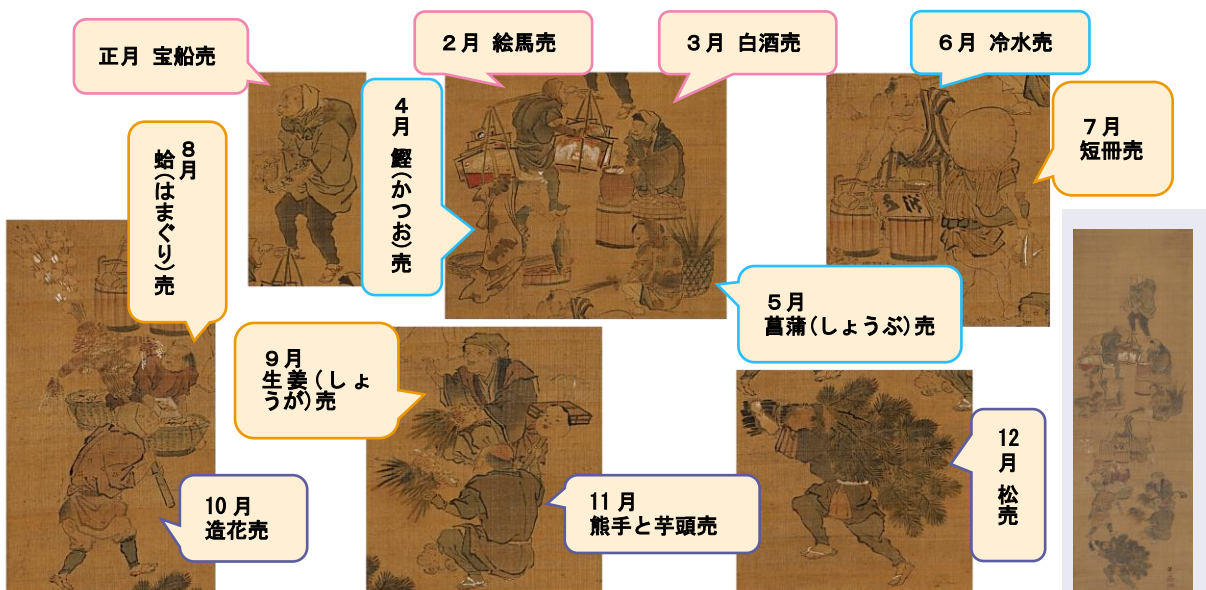
見逃せない作品

12か月

江戸時代は現代の太陽暦(太陽の周期を基準とした暦)と異なり、太陰太陽暦(旧暦)を使用していたので、暦の日付と季節の結びつき方が現代と異なります。

◆蹄齋北馬「十二か月物売図」

正月の宝船売、2月の初午の絵馬売、5月の端午の菖蒲売など、それぞれの月の催しにまつわる物売りが描かれており、江戸の歳事記ともいえるような作品です。



蹄齋北馬「十二か月物売図」(後期)、左上の各月の物売は部分図 ▲

正月・万歳

まんざい
万歳は正月中に来る芸人の1種で、烏帽子を被った太夫と、鼓を持った才蔵の2人1組です。2人で各家の門口などで祝いの歌を歌って、祝儀をもらいました。

◆葛飾北斎「万歳図」



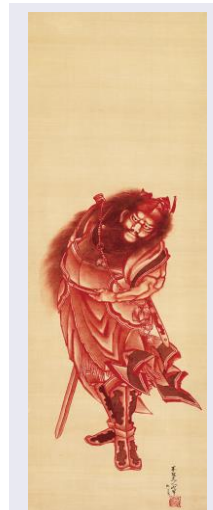
▲葛飾北斎「万歳図」(前期)、左は部分図

壮年期の北斎の優品です。門松を長く途中まで描いて画面に奥行きをもたせています。

夏の行事・端午

5月5日は端午の節句です。男子のいる家では、強い者の象徴である鍾馗や、家紋などを描いた幟のぼりや鯉幟こいのぼりをたてました。鯉幟は江戸だけの風習です。

◆葛飾北斎「朱描鍾馗図」



▲葛飾北斎「朱描鍾馗図」(後期)、左は部分図

鍾馗しゅうき図は中国で疫病神を祓って魔を除くと信じられ、日本でも古くからよく描かれた画題です。

本朱描きの鍾馗図は、流行病の疱瘡除の祈りを込めて制作されたもので、朱だけでなく、目や口、髪などに墨が用いられており、細かな工夫がされています。

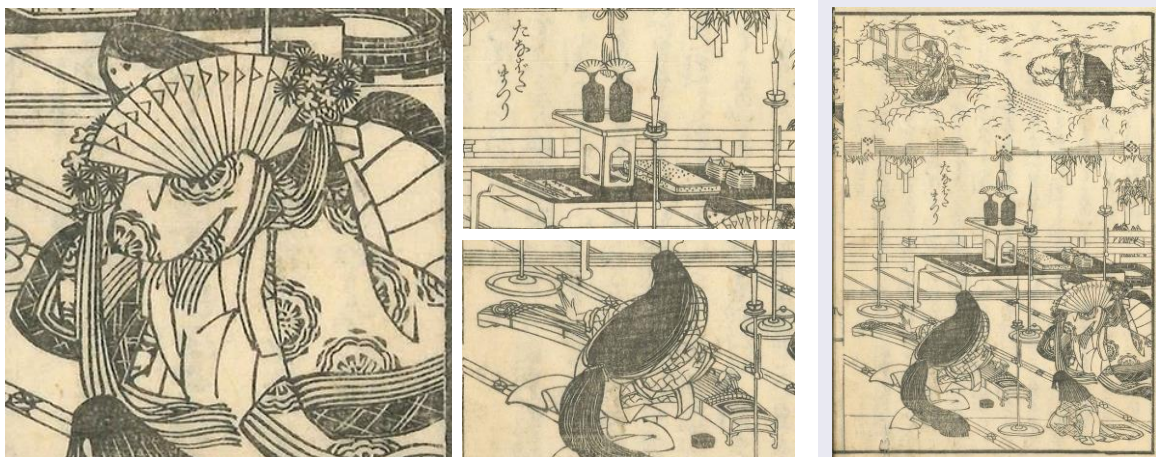
北斎は「朱描鍾馗図」のほかにも、疫病除けを願って地元の牛嶋神社に奉納された大絵馬「須佐之男命厄神退治之図」も描いています。大絵馬は関東大震災で焼失してしまいましたが、すみだ北斎美術館ではこの推定復元図を常設展示しています。

疫病退散

秋の行事・七夕

7月7日は七夕で、^{けんぎゅう}牽牛と^{しよくじよ}織女の星が、1年に1度天の川を渡って会う日とされています。

◆葛飾応為『女重宝記』五 たなばたまつり



葛飾応為『女重宝記』五 たなばたまつり（通期）、左・中央は部分図▲

葛飾応為が描いた作品です。王朝風の女性が七夕に乞巧奠^{きっこうでん}(*1)の飾り物をしている様子が描かれています。燈台、琴、水器などの細かな描写にもご注目ください。

*1 乞巧奠(きっこうでん)：女子が手芸の上達絵緒織女星に祈る行事です。

冬の行事 「立春の前日 節分」

現代でも行われる豆撒きの風習は、大晦日に宮中で行われた^{おにやらい}鬼儼、^{ついな}追儼の儀式がもとです。立春を正月とする考え方もあり、節分は大晦日に行われる厄払いの行事といえます。

◆葛飾北斎『北斎漫画』四編



武士が鬼に豆をまく様子が描かれています。武士は大きく振りかぶって鬼に沢山の豆を容赦なくぶつけており、鬼も痛そうな様子です。

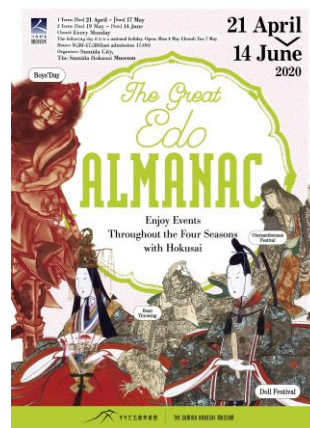
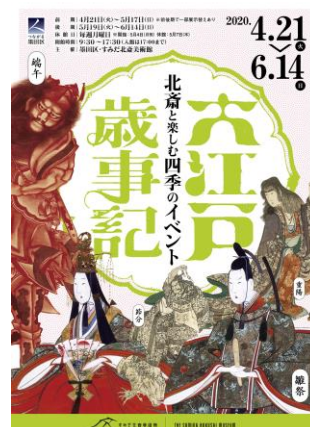
▲葛飾北斎『北斎漫画』四編（通期）、右上は部分図

このほか、北斎や門人たちによる前後期あわせて約 120 点の作品を展示。
江戸時代にも多くの人で賑わった寺社の祭礼や、作品に描きこまれた行事の風習を紹介します。

開催概要

企画展 大江戸歳事記

会 期	2020年4月21日(火)~6月14日(日)※前後期で一部展示替えを実施 前期4月21日(火)~5月17日(日) 後期5月19日(火)~6月14日(日)
休 館 日	毎週月曜日 ※開館: 5月4日(月・祝)、休館: 5月7日(木)
開 館 時 間	9:30~17:30(入館は17:00まで)
主 催	墨田区・すみだ北斎美術館
お 問 い 合 せ	03-6658-8936 (9:30~17:30 ※休館日を除く)
企画展公式サイト	https://hokusai-museum.jp/saijiki/



観覧料	一般	高校生 大学生	65歳以上	中学生	障がい者	小学生 以下
個人	1,000円	700円	700円	300円	300円	無料
団体	800円	560円	560円	240円	240円	無料

※団体は有料のお客様20名以上。
※本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、AURORA(常設展示室)をはじめ全ての展示をご覧いただけます。

前売券	一般	高校生 大学生	65歳以上	中学生	障がい者
	800円	560円	560円	240円	240円

・すみだ北斎美術館受付(販売期間: 3月21日~4月19日)
・ローソンチケット Lコード: 31844
・カンフェティ <http://www.confetti-web.com/>

▶本展オリジナルリーフレット『大江戸歳事記』を発売

リーフレットでも江戸時代の四季のイベントをご紹介します。江戸時代の暦の特徴について、学芸による詳しい解説付きです。現代にもつながる江戸時代の年間行事を、北斎と門人の作品からお楽しみいただけます！

リーフレット『大江戸歳事記』 税込300円 ミュージアムショップにて4月21日(火)から販売いたします。

▶【開催中】常設展プラス「隅田川両岸景色図巻(複製画)と北斎漫画」

北斎の肉筆画の中で最長とされている「隅田川両岸景色図巻」。全長約7mに及ぶ本作の複製画を展示、その全貌を実物大でご覧いただけます。また、『北斎漫画』立ち読みコーナーでは、北斎の代表作のひとつ『北斎漫画』全15冊の実物大高精細レプリカを、手に取って熟覧いただけます。(※観覧料は「大江戸歳事記」ご観覧日当日に限り無料。)

会期: 6月14日(日)まで開催中

会場: 4F 企画展示室

関連イベント

スライドトーク 企画展「大江戸歳事記」の見どころ

会場: MARUGEN100(講座室)

- ・講師: 竹村誠(当館学芸・教育普及担当)
- ・日時: 4月25日(土)、5月30日(土) 14:00~14:30(開場13:30) ※中止もしくは延期となる可能性があります。
- ・定員: 60名
- ・参加料: 無料(ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です)

※スライドトークの他に歳事記にまつわるイベントの開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止となりました。



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

広報用 作品画像請求用紙

貸出をご希望の作品画像の番号にチェックの上、ページ下部の広報担当までお申込みください。

12 か月 □1.蹄齋北馬「十二か月物売図」(後期)すみだ北斎美術館蔵

正月・万歳 □2.葛飾北斎「万歳図」(前期)すみだ北斎美術館蔵

春・雛祭 □3.大山北季「享保雛図」(前期)すみだ北斎美術館蔵 ★

夏・端午 □4.葛飾北斎「朱描鍾馗図」(後期)すみだ北斎美術館蔵

秋・七夕 □5.葛飾応為『女重宝記』五 たなばたまつり(通期)すみだ北斎美術館蔵

秋・重陽 □6.葛飾北斎「菊慈童」(前期)すみだ北斎美術館蔵 ★

顔見世狂言 □7.葛飾北斎「新板浮絵三芝居顔見世大入之図」(前期)すみだ北斎美術館蔵 ★

冬・節分 □8.葛飾北斎『北斎漫画』四編(通期)すみだ北斎美術館蔵

★マークの付いた作品はチラシに掲載されている作品です。
※画像を使用の際は、上記の作品クレジット(作家名・作品名・展示期間・所蔵先)が必須となります。
※記事本文中や作品クレジットの始めに、節句名をご記載下さい。
※画像は記事などで本展をご紹介いただける場合に限りご利用いただけます。
本展の広報に関わらない出版物や映像への使用・転載、商業利用はできません。
※画像の複製・貸与・頒布・配布・販売などはお断りいたします。
※ご使用後は、画像データの破棄をお願いいたします。 ※展示作品は都合により変更することがあります。

貴社名 /

貴媒体名 /

部署名 / (役職名)

ご芳名 /

ご連絡先 TEL/ FAX/ E-mail/

ご掲載/放送予定 月 日

備考 / ※ご要望などございましたらご記入下さい。



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

今後の企画展のお知らせ

北斎生誕 260 年記念

THE 北斎

—富嶽三十六景と幻の絵巻—

会 期	2020年6月30日(火)~8月30日(日) ※前後期で一部展示替えを実施 前期6月30日(火)~8月2日(日)、後期8月4日(火)~8月30日(日)
休 館 日	毎週月曜日 ※開館:8月10日(月・祝) 休館:8月11日(火)
開 館 時 間	9:30~17:30(入館は17:00まで)
主 催	墨田区・すみだ北斎美術館
お 問 い 合 わ せ	03-6658-8936 (9:30~17:30 ※休館日を除く)
企画展公式サイト	https://hokusai-museum.jp/thehokusai2020/

北斎生誕 260 年を記念し、すみだ北斎美術館の二大名品「富嶽三十六景」シリーズと、開館記念展で約 100 年ぶりの再発見として話題となった幻の絵巻「隅田川兩岸景色図巻」を中心に、人気の高い北斎作品約 100 点を一堂に展示します。今回はじめて「富嶽三十六景 山下白雨」のバージョン違いを並べて展示、また初公開となる異版もおひろめするなど見どころが多い展覧会となっています。北斎の名作の数々を通して、日本の四季の美しさ、江戸時代より観光スポットとして知られる隅田川周辺の名所を紹介しながら、北斎のたぐい稀な筆力と発想力、隅田川をめぐる江戸情緒をご堪能ください。

《 美術館概要 》



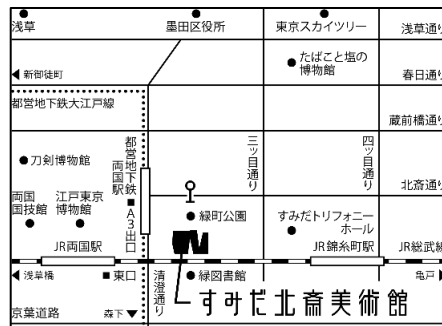
すみだ北斎美術館

THE SUMIDA HOKUSAI MUSEUM

開 館 時 間	9:30~17:30(入館は17:00まで)
休 館 日	毎週月曜日 ※(月曜が祝日または振替休日の場合はその翌平日)、年末年始(12月29日~1月1日)
所 在 地	〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-7-2
お 問 い 合 わ せ	03-6658-8936 (9:30~17:30 ※休館日を除く)
公 式 サ イ ト	https://hokusai-museum.jp/
T w i t t e r	https://twitter.com/HokusaiMuseum/
F a c e b o o k	https://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/
ア ク セ ス	都営地下鉄大江戸線「両国駅」A3 出口より徒歩 5 分 JR 総武線「両国駅」東口より徒歩 9 分 JR 総武線「錦糸町駅」北口より墨田区内循環バスで 5 分



撮影:尾鷲陽介



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館